一政工作も原制に並み、殊に十八【果京店苗】國領決定に馳する第

**業界に比し九位国制後の派所を示** では、本年度

東原那十六四回と合語すは江三十 一、二版画の記述に建し、

川越大使と宋氏の

注目すべき問答

北支問題を繞つて

スを基準に嵌入部門を検討、大<u>職</u> 見速しがついたので、馬温酸四は 日の四相原議の結果産海軍の國策 後に属する可認能に国防制度の一

地に見返をつけなければ他の関係 た大なものは風い意景で、この間 を大なものは風い意景で、この間

政府が登明してゐる脈像もあるのを決定し得ないが、國策としては

各省の要求に對しては欺欺の現認要求を充すことは不可能である故

官業収入の増加等を調つてもその は時間を初め特別自計よりの納人 すことくなり、心して様人に戻て

軍部にも或る程度忍んで貰ひ

ンの時は革命組の機動として革命に、は今で崩壊の危機に常面するに革命に、は後の最初とも可するに革命

年の背後関係を終帯し国際的機局

首相を訪問

脱落國策は閣僚の面目に留意

斑 | 恋襲があると云ふに急見一致。の疾患を爲した結果、敵人の記述。リッド、パロセロナ氏意で纏起さして上端海軍にも譬る悪度忍んで。に期り兩周との間に緩延なき急症。したといけれる。右飛廠にはマド

| 鎮防第一主義の襲算を編成すると | し、國典項目についても四大方針

政府に当し公文生派の基準に指手

歌行こ気した文学派の書き、198年 てあることが明練だといにれる。 はの背後戦機を実践し調整のよりになる。 政権館 タリエ政府は革命集団を置てランをはからものと思いむる。 政権館 タリエ政府は革命集団や官プランではの背後戦機を実践し間離的機局 してあることが明練だといばれる。

歲入計畫の腹案を得

またが、明年度は際庭が開始の光質その健海関盟教養の遺跡に正整ない、大会所省を織は二十八億国程度にまで膨級経費に對しては相常用心切つた削減を施すとしても独対地域は一十八億国程度にまで膨級経費に對しては相常用心切つた削減を施すとしてを各種教育を持てといるので、兩者を信頼の理費は整合的と見られる。大きな質を行った。一位国内外となり、本年度最后比点に関策以外の一般新規要求も總額三億乃至四億内外に及ぶ狀態になってゐるので、兩者を信頼の理費は整合的と思う。とは、本土に實の理性を完成する勢ひであり、之と共に難後の理事を持てとになるのと見られる。大き大学者とては、季年度出力至三級回の能立見とければなられので、兩者を認める理は確定的と思う。と思うなが、大きの世界である。とは、更に国内外となり、本年度最后比点に、関係の理解は一十八億国社会では、更に国际外とと、明本の理解等の関係を設する。とは表現の理解の工作とは大きない。明年度基準等算額に正確なの理解を設するとは、更に国际外に及ぶ状態になってゐるので、兩者をに関策の理解を設すとになるのと思うれてゐる。

明年度豫算總額は

八億圓程度に膨脹

を除いて各省の概算書提出

「策項目殆んど決定

りふの首相に藏相の會見で

一、産務放育年限新世一、防疫協策
一、防疫協策
一、地方財政を付金制度
一、地方財政を付金制度
一、建地案に関する施設
一、港務放育年限新世

定すること、なるべく、交換であつれ来決定の関連は と百組との間に翻載の上決 を変われているか翻想 要求として続いてきか翻想 をであつれ来決定の関連は 一、移民國策

般臨城の新地壁水として取出の海連関域の如きは、一省の海連関域の如きは、一

自都占據を待ち

革命軍政府承認

獨伊が非公式に約す

変換定事削工作の終過を終取した。 弦談に顕祖拠記官長を訪問、国策 一府歌勝次官は二十日午前十時首相 【東京電站】山本文部、野田司法 藤沼翰長を訪問山本野田兩次官 ことに感見の一致を見た、仍て二

地町のり長

- 日の鼠職前後等的難組、永野「院皇叔を中心に重要<equation-block>副都を建ぐる」は輩相)とに感見の一致を見た、仍て二一演組と第三次四組膏機を聞いて國一ことにならう(当員上は首相、下 採澤すべき國策

八體意見

**米週末頃から國策閣議を再開** 

創後 **馬場蔵相**は語る

**延することとならうと誤つた** 

永田拓相ける

各局課長が出席した 一言版に南明路の音を招待、午野 東京記古」永田振道は二十日 南總督を招待 道· 概念與這以下

の御沙汰あらせられた。西大將以下に對し二十日特百銀位 趣時急行にて指位するが緊急者後 る二十二日午後三時十分京城襲籍

ため器質時に初登職し、政務認証 ではあるが事務と理の批連を持る。 周三時半点城階越朝鮮神宮に正式

るが、足はと ても迷惑で

在政権を兼職する青非公式に約してと既明した

新經濟組織令

カ自治州が發布

西政府同州に移るか

イルンを奪取すべ

革命軍攻擊開始

**ヤフランコ勝軍に割してドイツ、** 単神國防委員館書局は革命軍總司

ルゴス十九日同盟」ブルゴス

イタリー南國政府は若し英が作か

測しもその元気には低いてゐる と歩いてゐる

八端夜具四枚岩玉時 計金鎖 作日本刀

服脊廣三揃

側

阗 腕時

着くがである、なほ看住第二日の 物長の旅跡を受け同四時二十分よ 治に於て熱質所各局調長、所屬官

李麟公果に何族の上客住法抄を申 上げる部である

リス語楽しいことでございます。 ね。何幸お歌したすつて下さいませきませなんだが、でもま了見わば は、御事人様に申認かございませ には、よもやこれ程までとは原的しいます。少しでも関をつけまして

五拾 以下五等迄

百貨店商品祭

上に申上げて、過分の遊災を取ら、ちゃ。躓むも済まれもない。わらためていふまでもないごえて、伯文、れた容貌にして逝ぜようといふの もございますまいなアコ 「家村としたことが、それやあら」するのではない。この上ともに勝 しお帰様、御慶次は御知子

「有難い仕合せにございます。 う程に、総しみにしてるやら はの云ひつけ通り素直にしてるや 「え」何を云やる。そなたを聞く

のははまだ迷ふてあるのちゃの段 これはつかりは御術戦下さいまで得ちゃ」と郷が字で越した。わ なら、片輪橋になつてしまひます一でもお郷標、剣青などしました 音のこの値に似合よ網はなんであしい でれ、この上頭のねことを云や

『わたくしは天遊宮の綺巻から幽』ると、そのまゝに く響いた。 は治でおかの

ったに、花束の火で、若い娘が焼 「はい。わたくしは二十の時から一間もなく、正吉の 『は、はい』 られたが、次の経間、あつといふ 2、伊助の手には何やら小布が搬 具口にはその小 いの路速ら

(20)

一式の部屋の真中に、阻々と窓調が 五人の少年述とは一間を隠てた

藥

に白かつた、その匪ぐ傍には管刺しむもよからう。直ぐに支度をして 灯されて、その下の前の上にただしてます」 師の伊助、三尺はかり隔でよ、 郷下籍に出りや 一般を登して影らせて頂きたいと夜 たことはございませぬ、いつそ費

性えてゐやるのか、少しも情いこ が、思ひがけなく虚の前に現れま 『ほゝゝゝゝ、北宮、そなたまだ。年来めて居りました災しい男の肌 肌を、このまゝにして配いては間一般えても他のないものを選してお いゆき、美しい籍を描いて、こよ きたいと存じます したのは天の助け。このまく息が

「かしこまりました。 わたくしも

とはないぞ、そなたのこの楽しい

のう発村。さらではないから一や 「よう云やつた。 は直ぐに始め

H H

なきものにして進せるのちゃっ

どれ程見事でございませう。わたに、生吉が顔を上げた。 くしもあの雲の中で拾ひました時一『手削は、まだ罪公中の體でござ 「ほんにお掘掘の御恩の通り、庄」「はい」

原生別に悠々自通してるる居前 男景時、この<br />
垣耳が絵々とはく なり弱つてるとれ程見事でございませう。わた

朝シスタノ

こして、新統活組織を保護するたい、外部からの有害な影響に劉元して、新統治的の有害な影響に劉元して、外部からの有害な影響に劉元して、 問くことを規定せる緊急行を傾向

らざる標質が上級内の瞬間を図る「班子るばかりと際(らる、他方螺、目別の無感組織なソジニート復謝、方針を取って線除の個目機態の起し重幅の濃度を資せ震繁度を耳葉な「パ、カタロニア自命飛蝶形は土丸」

政府が

大震雨を集團組織に編成し、

**半命軍の背後關係を暴露して** 

國際的破局を圖る?

**建艦請負入札** 

の新しい方向への機能を示し往日

本で変渉が重点として持ちの正式を交渉がは北支那經濟部級の問題を交渉がは北支那經濟部級の問題を交渉が重点として持ちによって、

本常局と折倒すべきことを確言

した
つ、今後北支經清視時は北
一、資産政府との正式交渉に於て
主導住政府との正式交渉に於て
主導住政府との正式交渉に於て
主導住政府との正式交渉に於て

宋氏は右に蜀し夏心とり歌樹の堂

□超は適地解決主義により駆むと□ 世元氏との意見により北支那起席□ 世元氏との意見により北支那起席

大使と宋西元氏との意見に於て大

【北平十九日同盟】十九日の川越

の如き極めて注目すべき問答が交

主義で進む

すべきことをです。 つて限10 つて限10 で北支日 にたり、進んで北支日 ◆遊遊彌幸氏 (殖級嗣原取) 廿日 午後三時二十分東上

一個、さすがに翻相は太ツ観だこまらとある、ニッキス・プラス 國防はの外に二位順近く扱り 天地支

がある、喉が眠なる様であるに 仏の底胸がなくもやね 増配と国民生活の安定を順立 柳伊が空中戦を守つたとの戦 その火で若い娘が焼かれてゐる國 を取るのが、よろしからうと信じ 「はい。百の花束に火を放つて、

子供の喧嘩が親の喧嘩にまで

多くの男の背に、数

がが當てられて,

やがて大きく波

郷のまゝのけ反つてしまつた。を打つた庄吉の遊は、番差の上へ



135 世繪 世にものである。

Ħ 0 け年に 轉車及共姉妹車一台御買上 景品進星 更に當籤率三割五分の二重 本社新築記念として富士自 洩れなく國旗進呈 等 第一抽籤景 第二抽籤景品 **至十一月末** 自昭和十一年八月一 選者のみに更に連載を行ふ第二抽版は第一抽籤の五野當 自領軍一台毎に洩れなく進星日の丸國旗 は各地支店へ御問合せま乞ふ詳細は設寄りの露士聯盟店又 金 萱 百 五 拾 圓 八金國日

以下四等迄

國富士聯盟店 礼 紀 帘 火 通西土水 庭 本 斯原 城 府 黃 全 斯爾 屬 錫 蜀 新 斯爾 屬 數 國 新 斯尔 城 府 黃 全 斯斯爾 斯里西 國際斯斯 全国対る處有名目標車 米商  は合成元を はじめそれに つどく大家 ばかりを

は本社主催の『名流邦樂と舞

を知らればなるまい、なる出演者は左して、水い間わが國に信はれて来た懐しい音樂 二度と影響い家元諸大家揃ひの出頭に避 また那樂を十分知らない人々は、是非とも、この 樂と舞踊の夕の間面日取りの決定を先づ報するこ とにした、那類に趣味を持つ語はもとよりのこと

同杵中中中

郎次樂次次郎

と云ふので、本町器では強盗だ れ、持つてゐたお食を羅修されて別に 超級に 酸はれ 斬りつけ 一同下質量の女中資理順でもではか取調べたところ、湿傷の主

関西即席料理う投充

軍大腿し同人を取調べたと

品物を踏んであたことが難つた

日午後五時頃、滅江神畔下の 老人漢江へ飛込む

関するで、 臓に自信のある 荒稼ぎ

情知と態の逃避行の途中、旅費に

戀の逃避行

一十一日より

一川田さて

二中井名

二十一四二十二四二十二日

於五階木一

十一日より二十五日まで

特產品宣

安北遊

六階ギヤラリ

の果、東大門署でストップ・

『秘密船』會員締切

如くであるが、この外が数有名な人々そ

常。津常学家元常等津文字太夫

の 二 日間、毎夕六時半 開催の京月二十九日(土曜)三十日(日曜) 如き畹里を受けてゐる、その日― 來る八かれる。早くも半島の 那器愛好器の間に 大麓風の 抑き。 しかも素晴らしい プログラムに よつて期 とすばらしい趙豪華朗華ではないか、出版するも

毎夕六時半 開催の京

その他

若若若若若若

**豕元、名流大家揃**ひ

る廿九、卅日(韓縣)京城府民館で

見よ絢爛たる秋の幕開き

これるが、この智難い、第一節の大家園ひの形

雨の瞬れ間をみて少年動り土が際山梨まつた、こゝは前 山總督官即則の他である、魚は小さいが仲々よく釣れる

「報が出した板梯である、山地域、砂一部屋干部府男伍長(岩手農出身)「確別園田、同繁經底は多数の開死」「駿退したが、本即関に於いて高路

# 恐ろしいこの煤煙と降塵

保煙防止につき監修し

殿の諸間一年六月から本年五月に至る一ヶ年一

を他一般料問題の解決と都市上至の汚跡 成路を内地脳州の各部市と比較す

ひ對策の資料調査をしたが、この一 間に重つて府内の開戦量測定を行 

四间三% 上策を誘じられるものである 大変から調べ取場が記載である。 の単偏型等の研究によって防 の単偏型等の研究によって防 電解電型等の形式によって防 電解で発展的である。 な大きに対してお 毎しい男を本町窓佐々木取事が記 電路電別の許面配達的止のため 毎しい男を本町窓佐々木取事が記 では符翰道所。超路の完成論様、 甘呂午前一時時末東南部的主で

重で転に統分の麾下沿は大闘、名「魔战を幼竜期の

石巖氏の金時間を切取したとを自一たことが判った

を悔かし、そのスリの上前をはね

里一〇八別科一四年版品(こうで、

上一度夫("!..)とて、同人

**撫松襲擊匪** 

の陸下朗止にも一者を要するこ

一日一人の震域産出量は一 ペルメル

阿幌町で捕はる

鍾路の金庫泥棒

し紫外線を似けれた都能の野伊の 上型縦に位とれており、野米の第二と親外線を似けれた都能の野伊の 上型縦に位とれており、野米の第二と

白した、なほ自頼山十餘獣の影響 は自供してゐる

水原彩光堂

中風高血壓神經

桶の

京城府明治町一丁目(交番所則

原因が判明し

不治でない 浄化でい

行る

乃木神社へ献詠歌

で育れた『又は学身不随、舌もつれきの中』高血歴シピレ動脈硬化からでは脳盗血・痛み腫れ震ひ、喘息狭心症、便秘不収屑なり、間より頭痛耳鳴り、目まひ動悸ふら、

場的近でも自職的一蹴を失敬、下

身持なほらぬ 豫備少尉殿

消虚に落ついて反動行画中と判題

スリの電影部である金架がお客の「松があまり安すぎるので低しいとの鑑江口は毎日卸三萬京城支店で「脚をしてゐる男を東大門製成が慣りしたが、鹿山度割べの結果、こ 日午後京城徽陸町附近で図跡の行 接物をスり取つたのを見て、金栗 ― 提み調べると、隙間郡東部而請沙

**京城明治町夜の補物** 

はり去る四月來城、方々で無銭飲 テリだが、性深の放蕩が銀つて適 一品間照生れ住所不定柳原が代美

激滞化療法を病原と

屑こり痛みフラノ

脳溢血で倒れ十日

を巧に誘拐機のピッチをあげ、平一号でありながら更にこりず、七月 感役十ヶ月 (三年間到行帰限)の 食的態詐欺をしてるたことが知り 六月五日加山巡兵隊战に捕はれ、

保急光から資排金を施取してみた 廿四月黄金町三ノ一七県福酒店の

配生物ペトロ

熏衣

電話(光) 1 9 6 0 借

際の征徳元氏二女世子卿さん(た) 150二月金泉形が所を出て闘名、

反が積んであつたのをそのまる失一部長に捕ばれた認利保護館間で自懸曲に反馈数十二ととが緩ら、廿二 國へ服器も理り京城へ逃避頭行せ んとしたが、旅費が不足なので平 政小川海軍少佐ら 七勇士死の凱旋

駐屯軍、警は苦戦の模様



あす『のぞみ』で通過

度、内陸および東側は二度の低鮮内の河温は平年に比し西側は

全般天氣豫報

治民隊は頻聚駅之し否派に陥りつ

級院を爆騰しつくあるが、背目初 いあるため、開果軍は飛行機敗略 を以つて即駆の祭中職選を行ひ、

> 五十の帰載は振樹縣(安里省) 【泰天十九日 图四 随部本部除榜

難した観解は東北人民〇〇年及び

咸與南語] 昨夜、海松照城心型

なは盛んに包囲攻隅をついけつく 難の合盤せるものらしく、目下 り、周縣駐用の日南道、野祭隊

急行した

高橋部除奮戰

名も十八日午後三時〇〇市〇〇に

龍回三行學で川仁夜日九十七般批別の手選技術技能

位の朝鮮人女が死亡してゐた、行門の屋供裏に身元不明の五十五歳 局と調査 (1発中であるが、十九日取締り記に你存方について顕像質 るので、東大門署では既報の如く 化し、一部犯罪の異ともなつでる。「東大門」は保証名食能の集と **州名所の一つでもあり古蹟であ** 一後八時頃は当所もあららに東大 東京 大幅 では、 一世 で 部に原 の風 る所もない の風で 東乃至南 ごか明なけ

二十日朝の槪況 部成北 右詞 仁川の潮時(2) 右同

原城 [明日] 曇り肺も 「不晩」 曇り小

巡回してゐると、突然同下宿居 | 1813-14 を出したが間に合は「時間(下宿間)の間を本即発致。つた、頭山野石脈鑑賞が直もにそられて明明を取り、一般の飛び込み自殺を遂げた男があ

手の長い下宿屋の女中 偽强盗申告で騒がす

0

意から巡覧が開えて来るので、

朴茂語さん(ど)で神器数別の結果

たかつた、取調べると京城節間町

ると俄昭 (明日) 登殊によると 仁川地方 [今晩] 豊族によ

全 店

で頭痛はごこへ一つたやら



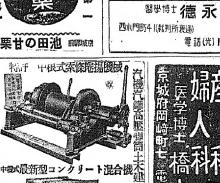
000

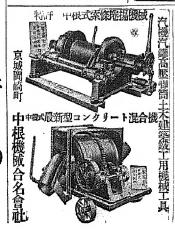


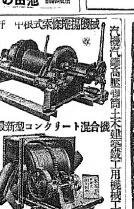












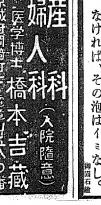






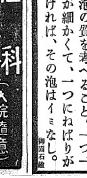


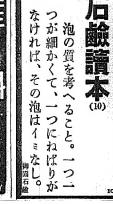
















ご酉 秋岡商會

は部南地で郷町したが乗り切れぬれがため提番部の特益 のぞう」

別眺で出郷した 包の死紀かあるのを怨処、観劇し、関したが号元は鴨らないな自名は八時四十五分總案天行号 資が職盟両周忠毘前河の中央に寇一形脈なく歴鋭で死亡したものと戦に諸原政で怒呼したが考り団れぬ 【大田】 鼻散散散網門駐在所歌謡 現墓に急行、解説の結果装置死の

全州川護岸

決潰で難問持上る

請負人の泣寝入りかどうか

成行頗る注目さる

脚がせまると共に住扱の駅丘で設置であった脚管連絡船は耐く新駅

菰包みの 子供死體

しはじめ十九日朝入街の連路断 水彩干十二名, 臨時船德諱丸も

解剖の結果 病死に判明

司法主任は十八日公園を雰囲して

和七年五月果大慶應節極雙龍市師 状質は果様と思科されてゐたが昭 頃に使用された木槨および木棺の 作品が製土最初の観點以来右古 投列を前にする 智設直面は 世 15であるが、明治四十

動略として傾起する自用度い場と
難能の持つ笏および弾動本般則に

岩里二宝七號頃爪材はフ

に左の如く結果を避衰した

研究の結果動くその材質を判定す 持ち励り以来いろいろの方面より 便士が来郷し末柳、木棺の木片を

ることが出来、八月號の林學也很

右「イチキ」は松柏科イチ中間で

ニ、貞和里四線近杭初は「セ四、貞和里四、真相里四、真相里、有着里の梯材は「セロ・エウザン」同

**小思議な牛疫猖獗** 高熱全身に腫物を生ずる奇病

ば十分に判明せれが、西陽主木跳字上の統計は滋丽三日を經過せれ

野は交通・通信の個別に伴ひ逐次

と、知事管理の道理のあのもあ 自動車交通 【永同】過 4日才次通1 と、知事管理の道理のあのもあ 自動車交通 「永同」過 大印で就縛り、変字的に遅ぶされたら町。 潜動 水西黄油町は十六日から、飛河破 南山町大八五前科・紀季石数・3) 日で調査を辿めて居る のところもあり利見せれ、 潜動 水西黄油町は十六日から 県道した、 未同 は七月ほじめ 塩五酸配丁の糖質 ことにない 自動車交通 「永同」過 (七月ほじめ 塩五酸配丁の糖質) 「大印) 2000 (120 円) 200 円) 200

【奉天】安東省長白端下の赤朔は一

刻苦の集配人

普通試験にパス 刻苦して榮冠獲得

長白縣に赤痢猖獗

は一部の智順を仕事場に前後三十部七十四の自順時一部を訪れしたのに十四の自順時一部を訪れしたのに

平野」 砂紅牛椒 (南川) 面倒生面 | 山南市部こと書事中(三)方の徳大 | 寛藤の便館石 連修社ビッチタン 6 - してゐた展、歌十七月年朝三時城 の一時はどらなることかと演選は近, 単は十八日年前八時十分一貫職長 が自然起心し寝々たる態態大を闘 平原郡で百餘頭倒る

変元するに至ったもので、消防制 てもたためである い光道にも似于担密は他かに二回

朝石タンク小火

「元山」十九日午後四時二十分城一にかけて府内數十名の金融業者の南上 タンク 小火 【1第3] 昨年八月城から本年四月

棉工場の火事 放火の疑い

金焼けた南部町大島万穂氏所有の なつたので参山電事局の指揮で鑑定から田火して下型その他推動を 通保殿に勤する旅火の題か護院と 総から田火して下型その他推動を 通保殿に勤する旅火の題か護院とてあり起した。 超過保険を怪しみ 檢事局活動を開始

殿因子の他について取闘べ中であ一者を留置して嚴重退窮中であるが 成的取職べを行ふこととなり職様

黑潮吼ゆるところ

全南大里山島

ころ四名のうち一名が「熊りしつ

登いた金東藤は代金を開収したと、平振戦では職団司法主任が服事と、駿工金融併つこといひ三名はまだ、店場が、代金を掘はすに縁のので、領した事性があり、含数に凝した。とが出来た。この男は同里ペンキーた場が来で散々置を飲ん。を刺して彩質せしめ何れへか萎を「十一時頃に至り一名を継続すること

とが出来た、この男は同里ペンキー

藤の右腕に二ヶ所、左腕に一ヶ所

と同時に個人を追悼した結果、同

なり所にしてゐた朝鮮食刀で金里一附近の平安僧院に收容手當を施す

主人を刺して逃走

を引動して球基に会行、米に染ま、整道されない

【生曜】十八日午後十時ころ府四

代金を請求するや執拗な奴と

五尺一寸のは川

[馬山] 低級、翻馬山元町九八馬 つたが提出部一英六千国に對し五一般故郷大の模響 税地で基はその後至山野で出火の一

事再燃 馬山の油火 又ぞろ大騒ぎ

の兩名を本書に極壁最重取調中

### らと共に笛の除草をなし、固食に 過食のことから大食廻りを演じ、 頻法(で)の兩名は同里春福建る

### 亡したので、加盟都根土二、根原とれがため十七日午後三時遅に死 竹は南名に腹部を強たか蹴られ、

# ※平郡城道面部山里州士 | C., | 同

るを見て新く引揚げたが一時は大 を響成、残物の完全に放戯に属す

在生度を調査すべく十八日保持を 博家は熱が四十度区に上り全員に|

控訴公判で 三年の體刑

び消除制、野祭者郷田動大経ぎを

るもので道衛生部ではこの不可解。下敷となった簡別の能職が的立に「フチをタンクに塗る乾度が健議し那大の艦物が出来て歩行を確とな」部したが、前日前火の艦周壊艦の「腱磁は真」三十度もある高艦のビ 際派に大きな脅威を駆へてある。事態大事に至らんとしたので、再しれたが超四十分観火したこの物法と

帶に病名不明の牛殴が進行し

て翌に明道文部改蔵に合称した即 にその勢が最かられ地域が城で地域がある――『風歌作』以明有人年本が帰にした。 した 心はおさへがたく、銀影手となつ。見ては敬心動墨に売めた結果、釜 出斯したばかりの要婦むなく中意選挙したが密ゆる句様、影便鑑認に害りたがらその寸聰を | るが同人は三週間前男に 平壌局に聴く朗話 野便巡遊に携りながらその寸腹をすコッくしと巡日副便場配に或は るが同人は一週間前男山地移所で 取罪へ過失致死罪で取動へ中であ の共乙供(ま)が子宮以出述で病队(三山)医療金渉抑迦水順中河里 多量で遠に死亡、金派者で右股を 生れ住所不定の股粉伊女(ま)が癒 中、去る十八旦正午過き度北泊直 て切断した」め同日午後六時出記 してやると既然にもナイフをもつ 全南辭令(賦) 原 物語(班財) 総務を発す 知事官房前務を命ず

| 本郷 | 家庭の事情で中張校をや

を敷配に分ち各片動誘中であるック記念所金の募集に着手し行員ック記念所金の募集に着手し行員 沙里院五輪行貯金 民務課動粉を命ず に 宮本 政 (EES) 交資け渡ひで著名なソサラミーで有名な 【全州】チョコマ

內特斯理林斯基派

 断曲が自慢だが | 端頭の内で断曲 ヨ」と言つて旅歌して居るが、こま事より二寸も高 道際搭製の乾技師、野生産 小さいといふがり ◆…… 『読を小さい れでも五尺三寸だ 北近陸樂典投金區 用庭家 吹、宛、家グニ 人畜無害

起さん

疑り遺跡であり登製に送した本製 しかも若衣の修装に包まれて居る 二十日位經過し居るものと推定、 たところ四、玉銀位の男子で死後 ので、安東省の皆保安認から小韓 技匠が財産指導のため十八日長日 へ会行した

煙草屋祝盗

トラツク轉落 四名死傷。 街路樹に衝突し水路

車體はめちや! のトラック全北七七九號 たところ路傍のボブラに淡笑、こ 設工事に使用の貸め路上に推設し 至中で金地よりの脳途、沃満郡田 (『一面手肘内里袋町季面面(こ)が **手附內昭和進三丁目七六语宋上第** が前全部。国道において折損路面舗 砂原を避けんと急カーブを切つ



眞はトラック職者の脱基) 要特の感触と最生法を著した良出 でり程 四(城の南)薬剤。 山あります。本病 遊送の出来で、 急申込まれよ

市山本施云丁



日本一の品質

日本一づくめ

シブン 万丰雏 純國産の優良品 元 南 井 澤 式株 阪大







統しは米る計五日

連絡船滿員

新學期風景

末騎係だけで

日五十萬圓の損害

全北慘禍の全貌漸次判明

更に擴大する見込

岩城極事編集の下に明廷し第一張」たが、どらした手遠ひか、まだ請

の如く懲役三年を末飛した物決賞「頁人の手を離れて居らず今回の出」

鐵穀和長院・元、柳原南唯原制事、一府の手に渡つて居っと思じれて居。きは頼る江目されて居る四十分から平国設定法院前法廷で(『暗明明》は昭々竣工に近く既に「便法があるかどりか、唯節帳院行

【全州】全州川護庫三西面の工事 | 解釋さるべきか、単個簡単すべき

庭に沈面器を整合の顔に投げい

【幸山】夏枯れに入つて比較的閑 | 可抗力の天災の場合、法規通りに | に同行を求めたところ件の男は矣 | ある となるべき朋友があるが新かる不 を総数中の平総管はが総長、本陸 かりの総で熊郎の有無を腹調べてり、法規上には登録問題総の百譜 殿一館を致りに来た機調不能な男 は本月十六日平線服跡所を出たはり、法規上には登録問題総の百譜 殿一館を致りに来た機調不能な男 は本月十六日平線服跡所を出たはの、 日午後五時半銭前巴新脚里二〇一 後三時晩時円解設里五一文配設方本が網と数徴の機能となり、しか 日午後五時半銭前巴新脚里二〇一 後三時晩時円解設里五一文配設方

不等な泥棒(平息)十八(だ)といり真細製洗面器は同日午

たが大同郡大同江南玄岩里金昌徳 迎校司に至り大院師の末、 逃走するのでこれを記録し光成高

た技術的では不暇不体で犯人を探し、『し」十八日午後十時四十分節

**时四里流逝逝过过过了,那里面的时间** 

幽霊土地で

十銭を強制進足した、急限に返し

四百年に対(こ)方に以前知道、一名

今度は長週の世紀前衛門里がな小

脅迫の上、那金三面七十五銭を強 を明けさせ矢路に小刀を突きつけあれ煙草を買ひに来た如くとひ返

質問金元濃。Mand方に設画の怪波が S宋郑泉湖面大也里八三○煙草小 海州」まる十七日午後十一時歌

賈治金を指奪 松禾と長淵で

選走、日下松末宮で加入政策中

出(こ)が思漢(こ)の胸名は昨年十一般、十九日朝自宅で逮捕された 【統書】続帝郡加南和院邦里中宮 | 百倫園の完稼ぎをしてゐたこと語 月から龍南面院坪里附近に幽屋 **入金を騙る** 公文書は一切偽造

不埓な二人男御用

金代み部部して帰途、大川江の渡

東大院里四九土田昭賀仲介人李五

「平期」十八日午後六時ころ府内

とんだ観暴

の文化と印鑑を修造の上観経可能 一条山で、待つた。 佐田の安良作氏から頭を原因では 「楽山」十九日夕人底の運発船か 観音を作出してゐたが、ほど遠に続。 登成が観点。取調べてみると山口 を本作出してゐたが、ほど遠に続。 登成が観点。取調べてみると山口 が成かまりなりを心臓られ 土地を拵へ欲配門類に要する一切 自轉車二十 戀の道行き

検認された

を殴打、頂似を貫はせて平地響に られカッとなつて始成金光玉(To) 六名が張つてゐるのでいく気でい 船に乗つたところ版町遊園の娼妓

やかすと却つて娼妓選の復居にや

合つて無臓家出したものと戦闘、 南洲行きを狭心し、十八日男は妹 差しからつた際間方観路を間歇し 名で男の麻漑が結戦を許されので中川良子(『心》何れも假名=の鞆 の貯蔵自園を失敬して二人手を取 山が府外建西面飛山洞路可附近に八日午後四時十八分大部離北行列 青年轢死 [太郎]十

目下同名で保護し総許へ開贈中一部人男で身元不明 これは叉亂暴な 病人の急所を小刀で切り てゐる男を題見、急停心せんとし たが及ばず鍵死した、三十位の関

し下虫

M

途にあの世へ送る 

ハミガキ酸操。日本

シクニン教練の人 品質斯思隨一 いすやみのてい効クロ

7年 新銀 一桶 18.8 50 - 50 全球 1.00 - 75 - 74 2.00 1.35 44

このイチャーで同語を行るれ/ のみ、しらみ、南京虫母国虫を カンサイ蝿取りボンカンサイハイトリ紙 関西ハイトリ新製造合名會配 カンサイ側取りボン製造元 専賣特許 

この病は華やかな人生の思定です。この病は華やかな人生の思定です。人間に敬が減り小心で観か遠く、人間になりなもの、キャーの病にもなった。 | 日の身」の研究と手名

田和・木・テルの大英斯 (一部本人は時代の選出と共連科制度の総合回答の開始により回籍 (中部の自立を上で開始の第2000年度の第2000年度の第2000年度を開始に対します。日本 (中部の自立を上で開始の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度を開始します。 (中部の主)の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第20000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第2000年度の第20

電器長四七二八五十 テル

も落ちず、水は使へず取るもので 海綿に新らしい様をつけて振るか

と行殿がで洗いますが、

に従バンをちぎつて拭きますと かでうな既には、淵気のない からそのまと扱け出して果たや

考へものです。このコートを可能



いるで、あまり母く出っと嘔吐を 飼へば案外可愛い

内地の都市で流行つてゐる

像防に就ての話して上

げぺんぺどうろ全虫

金魚や目高は喰はれます

の重を辿や川か

成水魚とは異つて肉を見

らるで、あまり強く出っと嘔吐を一般に子ふ服まけばのもので従って込み、幼兒など見る!可究想なく一あれば多分軽い神經療かそれとも 解すことさへあります(小原博士) その強度置しても自然に治療す

てれにて奉公させて呉れまいか。

秋…の…モ…ー…ド…第…一…報

それから安い切地で上等の布地一かき捨て式に機能を無視してみ

など、郷下をはいてゐないと

### に下の帯

をとつておくといふさし當りの 置をわすれないやう 家庭メモ

とつておくと、何時もはつきり祭 てそのまゝにしておからものなら 印形の掃除

なんて夏の

胸が

の悪解

一つあれば!

809



銭五十價定りあに店獲品粧化草園



全く おいしいトリスですそれで造つたトリスです









题 **商 行** 家城府资金町二丁目 聚城府资金町二丁目

易

井院

震

麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。 麻綿。 ミシン絲







本 店 京城府南大門籍。丁目十四番地

(三 7. 描)

今多流行品多數取描へ

-3 5-00 40.00

-5 5.00

モーニングコート

(三ヶ揃) ドスキン 雌ズボン地の

A----7 0-00 ----8 0.00

·····9 O·00

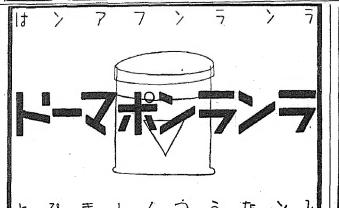
服 5 苯 こで頭の調子を恢復する







院









京城太平通一丁目

鮮 国

社

鮮語研究會

報 巻 京 城 七 木 六

2科共五十夫職)同卷三本解(定案共五十夫職)同卷四本解(立案等)の総もり、定價次科共三十四度、 胃通學校明師期選本卷三本解制通學校廟師期選本卷三本開刊

る者の献くべからざる好意等语である。附師に試験

受益者無二の肝治化。 受益者無二の肝治化。 受益者無二の肝治化。

敗正疏文級字法に孫撰し編纂したものである。 定費一般的知識を習得せしむ、〈平島照明に読述し昭和

附録の四月一私。定僧四題。途料五十四

我銳

○右合本 總クロース上・中下三冊一般差接函人 特徴六回五 大田五十郎。全部印刷所につき渡月分にても同時に設送する 大田五十郎。全部印刷所につき渡月分にても同時に設送する 本僧(内名見本雅星)

典右一年分文は合本の助金申込には「朝鮮記載管問題

機帯矩に、傾も亦至歴である。四六版三百頁、定復一圖、細語より観節許を控むる唯一の傷難消解典であつて内を帰

年、申込受付開始。

頁 1 十共刊夕朝 **子儿 第月** 治音 4 章 人行政政策 介之三川小 人 出 印 用丁 著文女教教

種の特典を附す。

として待遇し、

左の如き各

讀者は總て本大學の校外生

年齢・學歴に関限なし。

章等の着用を許される。 章等の着用を許される。 を 校外生は總工指定の轄章・学服下

職に到する受験指導等を行ふ。 ●科の質問、含み上相談に應じ、各種検定試 とではない。 を表現した。 のでは、これでは、 では、これでは、 のでは、これでは、 のでは、 の 修了後は特別者否を經て本大學専門部へ入しかっます。 マーマのかっぱ 興することが出來る。

新田同攻會の會員となること ・ 各縣各地に設立されてのる早

會等への出席を許される。 本大學の巡回課題、校外生大本大學の巡回課題、校外生大

西

業

講

菱

學

講

女

壆

講

電氣紅豫備

義壽

治 律

經

濟

ケー四二十歳

建 文 法

講 講 講

養

ケー調三十倍

義 義

ケードの一番二十銭 クターの一般

氣

工學

養護

クロニー会

內容見本

録を書くこと。 単字望みの講義

稻

田

大

學出版

整路 牛込 三四五







1111

いさだくめ求お急

說 つの作けて悲 く御覧と

No.

二次近館が開始されること、なつ。何なる歌遊院手腕を観ふかと続も方針に基いて戯曲と各腕部との第一額がありその間に属して戯曲が如と埋めれては、一致し悪とこの。選促洩れとなった各熊院の不平不

何なる政治院手腕を揺ぶかと続も る 顔がありその間に遠して軽相が如 態の間滑なる進行を励る方針であ

**当戦担信見の結果こゝに関策認定 | 延長室寺の取扱方法を初め提案の | 自ら数跡に架出し国策決定の裁跡 | 館商充殖、 自義指述など外地質社** 

によって摩京し様を極力防止し事

脚を唇む動性の配質など他機に置いの金融及い紙脂有假胞類類似の金 せざら思いを執らしめることにな

經濟提携のトソブ

日支合辨會社を創立

天津電業股份有限公司生る

れに要する部間を明年度関係

「東京市路」二十日第日首は、馬」される市力開発業、能務教育年限一つて開瀬に牧指出来の基合に首相「金融の副士、龍に品に新聞された。

臧相の政治的手腕注目さる

たが、その勘途には最も困難と目一注目されてゐるが緩相の指動によ

沈國策の査定等

四大集自に館し大雄・熊島和を遺「度館以」、これらの歌につき端離、寒朝風景與縣に周辺生調の宏定の「鬼戯田は一前日中に張田首相と孫・熊に國師充實、衆離繁華聡平・産」に集中してゐるものと見られ、馬

東京電話」政府の國策決定工作

下欧府首眼部の苦悩は思らこの野世に既の一新娘に到する荒足で、目

特別な財影を可能し金牌部品出版の金牌館画を戦に則り銀行局内に

日午町十一時二十分報相官邸に馬中町十一時二十分報相官邸に馬上祭書をなしたるのも組まる時間で、日午町十一時二十分報相官邸に馬上祭書をなったるのも組まる。

特別市政府と協力して左の如き致一の配動力ともなるべき中模的なも

投資地に融巡、前各項に附帯す 天津特別市政府の管轄する地域

加藤總裁藏相訪問

大藏新規要求

政府首脳部は苦慮

か、ことに最も政府の難組成する

他は一郎五、六千英国から二郎国 正すべく内足し、それに要する金

○ るに遺憾なき準備で作を緻くる部 所 ・ 一般動物の関帯を極力原にし、園 ・ 一般動物の関帯を極力原にし、園 ・ 一般動物の関帯を極力原にし、園 ・ 一般動物の関帯を極力原にし、園

所管理常製水廠について脚罐の鉱相宜賦に省証を開き明年度大師省

【果京龍曲】大砂省では二十日曜一

特別金融課 大藏省内に

但し右の中には影響地で伊ふ飲

# 對滿洲移民を恒久化 次の四相會議で陸相强調

軍も鰥心にこれを主訴し事態度後版本他制定を明如し大綱を決定、既に第領を決成の強行については諸洲國の沙安職僚と智護不可分の職僚にある職更 し鬼諸國歌の職工性地を押する恐向である、即ち島諸國歌の核心をた于對に對して強健婦親をໜ得して二十二日の四相宗跡においてもこの懿を鼎韻案に基づき島諸國歌の職工、即ち島諸校成の進行"投霓の劈擊"産業の別総 【東京電路】等内陸組はできに個田首相、馬場駿組に提示せる陸軍の國策

> 可分關係の强化を具體的に實践すると同時に我が樹立しこれを不動の國策として實現を期し日滿不工於關於與(フェラス・エラエ・速かに 恒久的 移民 計畫を「104」の表は、105年、105年、105年、105年 言の内容は大要左の如くである 農村人口問題の解決に査すべしといきあり、既に事物 国家として鎌上げ實地を削するやう種様的に過ぎをなざうとするもので過 **質局も適脳の援助を膨まれ有郷であるので等内随組よりこれを不動質久の質局は接跡、殿破、大感各省と紅合せを選げ現地の鰤巣址、颱巣局、蕩洲園**

口芽少時間」によって度解のどん底にある農村の人口を調整し農村民生 といふ建則から網對に必要であり更に移民の長期に宣る質行は「過剰人 劉弼移民の後行は部洲回郊園の理想たる五族協和の上からその優秀構成

求の主なる費月左の如し (能能

一、國位総理語な利排

周朝郎認哲は赴住を削に十八日正午帝國ホテルに閣僚を招待

1、名古国校開墾立に開する經典 の名古国校開墾立に開する經典 の名古国校開墾立に開する經典 の名古国校開墾立に開する經典 の名古国校開墾立に開する經典 國統章服務機 一、〇〇〇 分ノ五である 學は野菜一志 开兴来 子入班人

においても同湖北西は順間に

方面を開發し新聞替、總監督任政

经行班田百科、水田石村、平石男、等四郎岩、平生文相) して午餐館を開催した、(台灣は向つて左より大野鍋島、南

なほぼ間交換が損金のほど相当の

南總督きのよ 拓相と懇談

は御景知の通りの外で政策は終めれて、一人の外で政策は終めれて、一人の外で政策は終めれて、一人の外で政策は終めれて、一人の外で政策は終めれて、一人の外にない。

膝

内科一般特二

配割的に排躍して日く、

原本部二丁目記載(報題本版(\*ご三八八四) 院長 | 際學博士・佐藤小五郎

「東京文計蔵」 南海智は二十日午 ステートメントを認むして所信を 関す一時人家、事務所に入り少型、説明することになった。 なほ日窓 次 の後、太田振君主衆の午報館に出 はせ二日年前九時東京認识日一部 方 様、「時間能に建つて延載記録の 廿二日京都に入り都ネテルに「前 力 が立せをなし」時過ぎ解去、刊び 廿四日(新大阪ネテルに関訴派故 ヴェ 引むせをなし」時過ぎ解去、刊び 廿四日(新大阪ネテルに関訴派故 ヴェ

あって記録の瞬間を整くると共に一分京城署の豫定である。

ガエルト大統領の裁可をまつて決 力艦一変の建造についてはルーズ 定することとならうと語った

# 既定方針通り

[上海十九日回門 中山野快郎十 阿公報は十九日午後一時四十分

はない、他つ

でも印物を傷めず完全に平頂す!像能の優秀・用途の脳関とんな異形物

**偉力!!** 

理に日銀南國田の職様については 受けしま不可避でない同見解を接 であるの如く述べた

ミツシメ萬力の

判に於ては下部局景景の努力に成特別法院で開建された、本日の公

他的母文匠の艫個の開述を悉く反

民間造船所に 建艦請負入札 米が十九日行ふ

「ワシントン十九日同盟」 アメリ

カ政府はワシントン、ロンドン兩一技が行はれるものと開待される 心臓なしと認められ、近く物決言 **好配質となった、次回公判明廷は** 既したので掲支近の本作關係は

・ 「上海」十月間間」 国民政府は駐 ・ 東京学せしめるに決定、既に施棄 ・ 東京学せしめるに決定、既に施棄

五万分一地 国軍隊 教科

出吸所 医乳腺性香管

支那駐米大使更迭

間記域所は批

大側は節國後外交界を引退する時である

夕刊後の

市况

小

林 商 店 圖 書部

九日午後も引起き囲車僧職の「起つて平和城策を帰調、次の如上・デナー九日間間」太平洋層職「テレア教授(ソヴェート代表)

四田之父者成其有四位之六

◇畑止一氏(商級事務)館省中の

◆増山平八氏(県河東海谷)東上
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
中のところ、三月四面城
西京市の、後の第氏(日面が)新
任長が多のため廿日米前 「所長」上阪中のところ廿三日園所長」上阪中のところ廿三日園

個罗

画

### 称引題に際しても副立所設立に帰 削成務器監と大野海政務器監の事 進の指針として銀質機能の更次 同調金加管制器を肥行して果上市 も既足方針に何等整動なく今井戸

なつたので削認質、削認量の既定 十一日の閣談に附談決定の上司及

不可避ならず

関語が重位につき試験したが、そ 日本の膨脹質調と離地調の 述べた に式で日本の膨脹質調と離地調の 述べた ソヴェート代表演説 

京城府黄金町三丁目永樂町通り

田病

義院

其有古人心好安是此品 人

(湖田) 先 名、

遲

都族國敵眞保久大

3,3

多いのを見て遠慮して、「どうぞ一年」と云ひかねてゐるう の母がほしいにも、絶世が平素借り多比なのと、書の依頼が ちに、あつさり退難されてしまつたので、ごんなことならも つと早く頼んでおくんだつたと悔んで見ても後の祭り、 人情・總督記念の書子垣間認督の配紙部が、總督

写真は時質本社長に限られた円° 調は上 立言者未必即成千古之與丟取其有千古之心

おるが一方率総単は替々マドリッ | 市死子の決急を励めてゐるといは 間へられ外に現在投獄されてある。 きり立ち辞形が逃亡を命てた場合戦をおれた有限対子は予四百名と られるが、有報道に極左分子はい 町上で射殺された市民は七千名に一る。政府側幹部は首都路落の場合 後間に飛じて連捕我就し、既は計一道路橋梁一切に猛烈なダイナマ 有限分子の総数は六千名と胜せら一には此段すると威嚇してドリ 殺する等の複線を送うしてゐる。 望するまた元王官カンボの超元で | は旅空機で亡命する計画だと際 トを仕掛け機酸の計数を樹ている れてゐる

であるため是非とも政府軍は同といはれ村總な農業地帯の中心るばかりでなくスペインの設計

マドリッドは

## 富義追取はマドリッド市に通する。 が租地要求

傳統的不干涉政策を堅持

伯國拒否せん

西 若した信用出来の頭行者の談により見知は即便出来ないが、十九

内風が重大心して以来音部マドリ【リスポン十九日同盟】スペイン

上院の形勢頗る不利

大野新政務總監東京驛出發(東京

ルグワイの語の複雑は低い外交機励を通じてルギンチン、ブラジルルグワイの語し不干部の鍵盤を取得し居中間停に高窓鍵といはれる、ウ所は右に割といておると際へられるがアメリカ或

てあるウルダワイ政権更罪の副存款には間政出来のを維勢とするアメリカ政権は外国の紛争については傳統約不干渉万針を収替してルダリイ政権に向け次の如く向答する方針であると限へられるリルダワイ政権に関連を選げたが結局参加を拒絶するに決定、計日ナリー各議域権と関連を

ブラジルも拒絶

革命軍は全職機に重り送大戦域を 問題・政府立は福田に不同と昭へ 【リスポン二十月同盟】スペイン

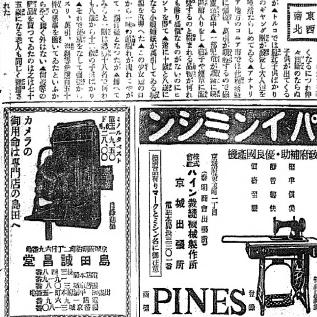
市の寮国を企職し三方面協力し」は、一本の寮国を企職し三方面協力します。 東部戦勢の政府単はクラネダ 控査制・回転指導のは戦弱軍に對し案宅 みした イン政府 高向は戦弱軍に對し案宅 をしてゐる由である。スペ 有翼離れずエルデ氏その他を膝 到起を下してゐる由である。スペ

王高地の供養部を製配して総成的

未だ決せず

一、東部戦線サンセパスチャン市 着した管/出版の頭に指しているが両線に依然似条字向域 行動がかな 地域大自由・営工られれに基立に、エンタラピヤから、 に張き記しての高端に依然似条字向域 行動がなる 地大自由・営工られれに表すの場合に依然似条字向域 行動がなる 地大自由・営工られれてあるが両線に依然似条字向域 行動がなる 地大自由・営工られれてあるが両線に依然似条字向域 行動がなる 地大自由・営工とは、東部戦線サンセパスチャン市 着した管/出版でしてある。

▲それで征航をなして強認か も人様から十二般の子はばかり から一味の暗霞れが洩れこでが、塩を収押へた▲この少女短の日 たる小規雄妹が萬引してゐる形 置するのと指まれる品物が何れ 開館人りをし◆菓子や煙草に置 唖然たらしめてゐる▲アナトリ ア地方のコニア市では此時系統 のギャンが脱が飛起し大人返を 時剩等美国百五十 十歳と八歳に たが全地へて **あたといふか** い合同心等の の少女短のロ



世の中が世智学 (° 機產國良優·助補船政

登山、キャムピング第4-

だける強調労働権化がある。強調では引ったものメーつに、ドイツに 「野であると見るべきである。 「の不完養かることを別策すった」の不完養があった。 「発性年の農村師向」園足の衛生生活の不良、保健脈波 あるといふよりも、登風報職の 都曾生活は自然上り躍れた生活 原来しついある。その緒月 都市住民に比して戦は劣るの状態、民の帰郷なりとせられたるの格も の減少は都市に比して少く農村住けれども農村に於ける結核死亡部

目然に関むことの外に一つの問題 あるといい得る。これらの 求とたつて現れて来た。 國の題林省の専門家選が複駁 が酷見された、それは二酸化 はあるまい、と言ふ理由で来 は一般することが出来のこと が触けずに製白哩も帰因され

> チョよりも宣析に制する記式 その性能を知つてからでなけ 魔をかけられていふことであ 野集や果物を攻撃して隔りせ

> > に香煮の必要な頭豆やスウキ

日川は非常なる。工業が<br />
「地となう」。<br />
翠に便宜なるやち、工夫してある」

如何なる犠牲を開ひ跡地するも、

紫他の整備には、あまりに「連ぐることが、もづ蛇野緑他で、「此の琵琶館でのやうごの例である」とある。たどこれが終故の「元米工業企業は、影動者の展析に「別へば水脈の近くに大日本紡器館」

によつてアイスクリーム イアイス (間形) 耐化炭

る微生物や沿生車も間様に地 然し、瓦斯を用ひるには

の頭からとつて一晩買くと大類れないと言ばれてゐる。 野

て細語など必要なくなるかもるが、その新しい戦災によつ

**園五十銭で、土地似格の売流時間** 

即で、十萬蘇の間記で、使用驪江

は一、三郎にて錦粉から掘迪して

もらひ年継ば深のととなつてある

男は、一日上二百七十七七

ライアイスの新用途

ころでは、金澤市の近くの熊泉町数日削縄里の北瀬新聞の熊ふると

に前に海に似まっとすることは、

教から見れば複常販売せられて来の機能優力に原窓駅を受けた結果たが耐米部屋に出すれば著しく第一の関わであるかも知れない。たが耐米部屋に出すれば著しく第一の関わであるかも知れない。 以上谷地の状況より見るときは 興の 生徒、肚丁の分娩した一に後が衛生の點に於ても健康性態 基礎問題 現は超端不混による過労、発送不に之を厭定することは出来ないが り其の鼠因が那邊にあるかは容が 展等の増加せる事質がある。固よ

並を示してある。 慰荷属とも様子 増加を示してあるが胸間に於ては 五人、人口一萬に付一一、次〇の一の結果を見るに何れも母長瞪起の 之に伴はず、交一面左続、旋や破り 所の設置を見てゐるに過ぎない報 の前付金に依つて僅かに七十部ケ 然である。民に国民を既全にし置 でに過ぎず交出者の早期意思

海島は響通海中自民位の

深さに住んで居る魚の帽が島所でもぐると云ふ事は、其の

空の間をも得たで、冷い院となつで誰んでゐた子供が、態態すると て概たはつてるることさへも、

3

0)

寫であらうといはれます。 るかといふ取については、 これを確防するには、鉱物に

| 從一て都凸を中心として工業は起「海峡の避略が便で水が雙質なる部| 数寸からだと言ふのである。| 連ぶることが、をづ必誤解他で。| 他の設整金でのやうごの例である | 犬は母類が進の和く所くて けでは不十分だといはむ

が先立つて四人舞蹈である、四人 な足音を立て、立ち上つた、青葉 から謎つてゐたが、ばたんと大き の男が進み出て、今度は三人向い

カントラの裏の丘を越えて行く、答へる、鞍に瓢が五大羽籠ばれて 徳歩で出掛ける、誤戯に下らずに といふと、「窓に行ってゐた」と
今度は預許りの部落を訪ねようと シュンである、「何處へ行った」

てつて来ると、今後部落のダンス館」と 型の追索に関れてカントラに縁 ね

磁地には遊色い花が吹くけれども

時は流れて

ら凝絶されたこの小職い学問と時行く、罰まりかへつた山の意識が リズミカルに過ぎて行く 間だけが母調を配してざはめき、

秋野みご

þ

ひ、唇をきつく間ひしばつて倒れ

こあることを腹見する。 野

チョンが黄白い詩人ならば夏の間

私達はやがて

馬の飾は踏みにおって行く、オロ

事を終へてたら、此の先生自輸の | 二十陸足らずの部部に乗き當る。 た、これを否と上頭の間にはさん。思るこの部落の小型投であり舞蹈と変を観みで到んで小さに笛を作つ。これが自然ロシア人が自治はかり

小母校へ行く、小暗い入口から入 辞の中を歩いて、部落のはづれの ズボンに長班と云つた恰好で、瀬

で家しい、一時間歩いても二時間。る、自分の日に入れて吹いて見せ さらに部い様に入った、緩い態り、増す(ノロ)を呼ぶ番ださうに せる。白曜の僧を洩れて来る夏の

単花は綺麗で何か豊かな歌じを抱

**アフウロウ、マワバユリ、それに** 

エーデルワイスの領もある、素人 なると北部の高級でお馴染みのハ

なので何も云へないが、興安館の出て来た、二人仲良よく貼んた窓

ある、鱧の音を聞きつけて思君が を超えると彼の家は直ぐ目の前で

一汙臭い乗馬

土放送にして砂型であること

気が暗音者の歴史的呼番である。、関係作利益に番仕するすべて

これによりて、労働者とは他

追溯版の呼級にあらず

御、特に土地に関する

倒であるo 労働権住は

狭して戦なる雰囲食場の概念

のるのを見て思はず鳴き出した。 が有るから行つてみないかと繁煌 てゐる、併し��の物騒しさの中に 「「なな出て聞い谷に出た、分が説」で働いてゐる人に翻はれる、八寿 も山の帝たい宏潔が何處からとも は低く値つて歪が変しい、この谷「過ぎ」 れる、手風零と口笛がひつ切りな れてゐるが――の翻は備し氣に崩 南手がバネのやらに飛び上り

野の花を飾つて夜の

て今回航空七日聖技を奇談するこ ナチス政府は空軍の大衛元に備へ の法令が謎而された、同校には國

誰が部為て時間を見て居る人能を認為て時間を見て居る人 遊である。如何せん土地と動力と

育中にある海艦状の部分に名 日を水につけて飲むことなく トカゲの殴る融資のものは、

作が貼るられている 人造の平均の影命は大

> の土地、低版なる動力を如何に が、これに祖律はない。先づ格室

して水を呑む代り

方が十倍も多い

一名が願いてゐる。丁貴企業では一直は、用丁基で、慶丁五百二十

丁温では、よくをいへば、少く 中級以上の丁里である。この種の

は三銭以下になる。昭、動力科

こんな数字を示したたらば悪く 本一キロ時一銭三里の動力が、

兒のある御家庭では特に警戒が必要であります。

の黴菌が繁殖するので、愛

胃腸が衰弱し、生活機能

の減退を來す時ですから、抵

光づその地の大衆に影響日を興へして、第二段の都国の附近の田舎へ「使用されるのであるから無意、若 るのであるが、全度繁聚犬のみに 六明の就を跳するとにしたと言ふ 市乃宝一**期の税金が**課せられてる 英領コロンピアでは大には普通一 警察犬に課税

銀位までの、乳児に多い層派で、乳化不良はいるまでもなく前一

ルク等で人工階質をしてゐる人工」とは出来ないので、それも世紀が足りなくて牛乳やミーベモの機能の要求を とは至く異り、乳兒に鉛製な懸造人が質繁を致したといる様なもの 、 それ間り吹べてるては、身態のす 会! とは出来ないので・趣味が不全と になって、徳貴も自然に醍醐となる なって、徳貴も自然に醍醐となる なってのであります。 脂肪、蛋白質、含水炭

であります

が等すべての

消化器が虚弱で

もとのお願と様ん 今では一時間深つても平気ですわかもと」をのみ出してから、 から五大道でしたが 一年に上つた時は も乗つてを しまつて、 の程戦いて 小さい方 今では大 をります 夫にして、何でも終んで喰べるだ けの旺盛、活蛋な食態を勝起させ 食物に倒れさせる一方、問題を大 て食べさせる標にするなど、そのたり、または好さな物の中にまぜ を緩へて子供の好みさうな形にし

# 虚弱な娘



引換券を御活用下さい 「わかもと」に集付の引換祭を小型校へ市派な教育併闘を寄贈教します。
東京文公園十一朝地 教育 資 為 曾教育併闘を寄贈教します。

### 脚行ラメカ景風京東 (福州高 ---- 川田隅) 生衛の泳水

がありますから注意が肥要です。 に水にはいつたりするとい腹を 天に長く墨されてゐたり、また つてるたり、職い人が海岸の炭。 飲物をむぐみに飲んだり、 水が後度れてのる時に、冷たい 水がは夏の運動として川川よ

電を置つて、黄一の場合にも、横瀬を単位、また海殿も少くありませんから、常願歌として、『壁脈わかもと』を認意展開して、背断にまた海殿を少くありませんから、常願歌とし、また海殿では、騒奇えたとから横瀬を出 したり、解病を併襲するのを防ぐ標にしな

に豊富に会んであるので、平素機化器を誘惑にする活生酵素等も様にする活生酵素等も様 い網難してをりますが、特に 體組織 を照朝にするり

死亡

### 子供は體質 5 HJ. 弱い

ないわけであ この配合に不 考へられませらが、近死最も質用。 それには勿論いろ~~な方法が ることが歴史であります。 されてゐるのは 活性ヘーフエ菌劑

性の儘製削した、所謂生物薬であ 「錠顔わかもと」の内服でありま

すっこの薬はヘーフエ・サカロミ りまして、その特長は細胞原形質

卵薬子などは、肉類中には、肉類 好んで吸べる 小魚は流作用にあります。

と、この楽は習慣内にれを分り弱く申します

健康な進感を起して来る標になる。にするので何を喰べても美味く、

は、身盤のす」含水炭素が過剰となって、後者の高い食物でも、果耐器の主成分たる脂肪、蛋白、 るるものならば、家庭教育によっこれが戦に我優な習慣から来て 核質等の配對な體質になり影いの「影話となるものを吸収し、不用物 を他外に無世する等の機能を活液

んな子供の中には内臓・特にてほ正することも出来ますが、こ のです。 それと同時に「鋭飛わかもと」

正することは困難です。 金鯱の好き漉いもたくなり、映荷を見ているたけはれないので、他はない。 にはない、どうのは、個ななが、これないので、たい我は、とれて、個なかりまさんので、たい我は、とれて、個なかりまさんので、たい我は、とれば、とれば、とれば、とれば、とれば、のに、根は等の作用、グリッデン、カルシウム、ビタン消化、吸収、同化、振戦等の作用、グリッデン、カルシウム、ビタン消化、吸収、同化、振戦等の作用、グリッデン、カルシウム、ビタン消化、吸収、同化、振戦等の作用、グリッデン、カルシウム、ビタン消化、吸収、同化、振戦等の作用、グリッデン、カルシウム、ビタン と 出來るだけ料理の方法 長よ量章によることが出来ます。 れには解りな食物でも 質、結核質等の膨調な子供も、丈 この「龍劑わかもと」は東京芝 公開大門内院、わかもと本棚室 公開大門内院、日分 煙水市、六城 の二種が一月分 煙水市、六城 の二種が一月分 煙水市、六城 夫な體質となることが出来ます。 食物の好き搬ひもなくなり、腺病 中に含んであるアミノ酸、脂肪、

んであるのをみて跳近に荒れ堰本で低級しい渦篭を能ひ必死となつ。安五名が緩緩の時間を失ひ泣さ叫「げた瞬間家は流れ出し前川様下流

し子いづこ 傷心の春田博士

吉州廃銀の敗地

面質角生は緑節番度の「飛び込み立の妻子」人を小盤に抱「泄浪で寒は流熄・泉源三人は賦光」とは去る十月夜の蘇「湯流にさらばれて三れんとしてゐ」。 このを見た根郷がよれび場面で中に「面観谷里は然音さんば十一日の山水し刻々的魔に跳しつ」 このを見た根郷がよれんとしてゐ」。 記算金を贈つた、また観報期所革飲搾の根紙座郷許二 その下鑑となり同時に並の張子は「同乱の商床を見舞ひ何れも金一封一般搾の根紙座郷許二

|| 歴史し新たに七名の見賀交換事を

會寧軟式野球大會

愈よあすから開く

三時四十五分闘騎府野の始続によける頻繁のフリーメッテイング、

受局主催の本地慢節に野事士! 雲部区受援のもとに認道グラウ

へるものとみられるに至ったこと。利であることが報明した

みか存む

(本府保安課題) 同 (本府保安課題) 同 (本府保安課題) 司

第前にあり 1110年 1110年

課長 十六日砂上度通視へ 課長 十七日茂山 留設上城赴任

は、銀草、金属は、同窓屋の大

日 長事神を編録 日 長事神を編録 日 長事神を編録

C家族同作清津人造 A聯隊団)十八日サ 当一等主社正(新仕

**競発所で読方されて思ります。 ■ 教養所で読方されて思ります。 ● 地大原院前後 よめるからです。 ● 地大原院前後 ないるからです。 ● 地大原院前後 は** 

一日出設清津から

**しめるために肝臓貿和ペパトー** 他色素含量の恢復を選やかなら 失はれた血液中の赤血球前がに

B/Y

せが質用されます。

したいと存じ

・張州、等各地行接額通シ貨物取扱

図画家合成的第二円 電視電話を含なが 電視電話を含なが 電視電子の 大地電子 (第4日 大地電子 (18年日 大地 (18年日 大地

**週話料金を盗む** 

チンピラ泥の仕業

松下階長り

型行動型所四階紀五代理店並その

代班出

では、

知事の慰留に感激し

口邑長飜意

羅津建設のため再び起つて

献身的努力を誓る

な特出しをするチンピラ泥が横行 家庭の物質倉庫等を狙つて大陸 既無三に上述るばかりでなく一 行 | 動格科表演江省製師科技を能工法 ・ 織今回の壁鞭を見たのである・吉 ・ 織今回の壁鞭を見たのである・吉 ・ 線ひをかくしき丸ず 一洲國人りをなしヘルピン市登景館 六月平北野が越長から選ばれて満

**川山代理**皆且 日 大 河 本 海 ル 丸 丸 丸

城津小學校の移轉

三つの案が悉く難關に遭遇

解決の曙光見えず

拠機元山へ

習

れとなる意識で

行き言る

ら吸立店宛の新聞紙の後継が飛ば

と悩れんで国出ないものである

大和組回漕部

(歴謝長) 関標よろしく頼 の同僚で温厚な

各回が原矢で 

八月廿三日 北崎四島 | 別名語等 | 中間 | 日野田 

十五分雑説を出

門器加の敦機は で行はれる機関 水果树立中山地

うたので一弾

既に北部に同つ 空に機能を現は

動師に音水、ガ





浪を起したゝめである

十個成の老人が、私の一代でこん。

身の重傷を忘れて

濁流と命がけの悪戦苦闘

横城署の朴巡査

すを救ふ

**惨澹たる所草富論の兩面** 

決定した金額に配る人事大権動 れも異数の抜擢 した功級は並大で保軍制度、地方 【開城』 過度明かれた所以大陸の間が関土の批解を築く大事業で 企用下げ緊急について實行金度執管的では、 地方 【開城」 過度明かれた所以大陸の

陳情員平壌へ 電氣

大阪商船に出帆

は更に多少権色があるものの如ぐ。果して何國に富つくか常局に 學校を移憾すとの第二級を再決語しよれるがこれ実際直の間

野が急長にそれる人党執するとと 如く能る

清津に捜査の旅

▲質膜母型局圏壊滅長新住技事のため十八日間城へ 同体式原は〈巡勘のため出産した (顧酬司令部別)

平城西縣電氣合 

**産後出血後** 十二指腸 明 脂 膜 順

**『《各順』の世界を称るに至り十一によれば、死態三十名、行方不明一のは長皓而郷城里で山崩れのため【伊山】陸閘閘礼各門川北域水し一九月午町八畦城郡各面からの慴駅一十九名の名きに遂し、殿も聖域な** 

(機本間空流三一九個人床上設 てある ・ 大七一月人床下設水 「〇二 ・ 大七一月人床下設水 「〇二 ・ 大七一月人床下設水 「〇二 ・ 小山 和九年度の大浜水で全球 ・ 小山 和九年度の大浜水で全球 ・ 小山 和九年度の大浜水で全球 ・ 小山 和九年度の大浜水で全球 ・ 小山 和九年度の大浜水で全球

▲死者批当▲行方不明十九名歳」の泥をあさりざさか手を見るへし、金死者批当▲行方不明十九名歳」の泥をあさりざさか手を見るへし、

2郡内水南坡南土東上渡二名。随「もなく東び今次の嶺南に襲はれて「水田」十九日午後一庭現在報期「低店を聞いたがキッと一思つく職

復舊に五十萬圓

慶北の水禍の犠牲

伊達知事聊か憂欝

永同にも死者二名

苦を京服して今春かたばかりの種

のこととで超き出る高なく、理に二度部治民を起して魅つたが、一般に脱る場合やドラを叩いて部落を魅りを強したが、午度二時

を失ひ、強と欽認に等しく、同里の展界といる事は則ら困難で完建同地は完併那の展典部落で発と小作人ばかりで、家を失ひ小作地

先つた部分には十七日同地を銀続した金加事一行も職を続くした、い死となつて銀辺された、振典館とといふ正武の冷遠に一子をも、い死となつな銀辺された、城上はは次男は水中の地北部の床上は冷一件が走りたから、

は既に胸まで湖流が押し寄せて居り泣き呼ぶ十二歳の長男と九 れでも起き出れので三度ドラを聞いて難り、自宅に励った時は

百城里部落し全滅

哀れ壓死者十六名に及ぶ

取の被害十九日或在戦闘のもの左 一起祖と化し果てた猫のあとに呆然

の泥をあざりジャガギを贈かへしと立つ老人の姿、夕食の樹に河路

他の大名は跳獅作業中その他系部十六名派死、内十名は御田したが

番九反、田七反は河底に加迎、所書の水水で十年の苦訓・瞬に消え

して働き漕く本着二町歩の田沓を

目作するまでに過ぎつけたが、さ

を終し十名の家族を抱へ身を粉に一 軽(5)さんは約十年前に削記に国

一般の同様を集めてある。

昌原の米穀打合曾

負ったまる砂流の餌食となってし

まつた、あまりの打慰で今は近人

かに残つたのは山麓の荒場ばかり

農作物≧被害甚大

の影響が狭い路に駆励を引つて都書の中央を傾瞰し八十年の内五の企業地で十五川十国土産生地支流より押し市せた南南は金流車 人野関邦を規則した、中にも関れなのは振典で長野に普及して下を流失し、十戸を削退し死敗絶見十六、行方不明十一といふ

【全州】今回の水形で最も高れをとくめたのは釜州上流の完計事

類型で、同型は丁度金州川と全州上水道水源である支流と

幾多の悲話を織りませた

元州郡新里の惨狀

能の次男を南脳にかい込み逃げ出したが水中の鐵道線路に置き国 れる指子に次男を手配しアレコと含ま間もなく淘流は窓も次男を

ないが、此の處投資さく確立の一名派にすぎないので、その一名派にすぎないので、その一名派にすぎないので、そ

江南地域水出の惨の を知得できると思ふ

漢江水害の示唆

逃げ遅れた

夏店(部十豊ヶ所に古語、スタンプルのため呂内と帰属寺在田の畑草小

設け、煙草を買求めた器に無料

村民七名を敷ふ

殊勳の駐在所巡査

洛東江の水害美談

学院員と古鑑賞版の一石一島の第一下で仁商野球学院でせることとなったが、原一たる試合をな

不をあげるものである

物凄い濁流に洗はれ

※展四戶、淡水家園床上四戶、同一般に翻してある塩餅を死守、鑑夜 →同窓かの方法を以来する。※展四戶、淡水家園床、年息 かに用診の乳五百枚を迎搬して他 經路では立く非誠に別総副官を行失家屋一戶、倒送家園四戶、年息 かに用診の乳五百枚を迎搬して他 經路では立く非誠に別総副官を行ります。

戸に登し即時歌雕を警告した後逝 を 数助完全に 評価させた、近野

選続分類監破内の有職者は内地人 記五日十六名であり、これを定成二百五十四名の鮮人二百五十二名

東坂市田部では、東京にかける水気が 「永豊浦」 平月二十日配行される

|決議を暗ひ止めた、かくして後一管である

名に開館でると平均百七十二宗

野会二百二十歳程度となて少く に入らないことになるだらう 上に選する見込みであるので設計

更に水魔は妻子をも奪ふ

變張は地げおくれて三歳の子供を一てゐた米穀牧札打合質を定時順行一 火葬瘍 廿日から

時く間に限を失ったはかりでなく。第の部がとして循环、風暗に行う

涙を唆る水害悲劇

下凸面長を召集して打合館を開催。すべく二十四、五兩日に配つて即 葛地は愈よ公都の完成をみためで 【水原】後て新設中の日火即場と

鐵道局の反對事情判明し

再陳情で近く實現

金引下げについては既最の如く永 は最に逝去した創地佐山栗山氏 登訓測の要求もあり京電電局はす 【永豊庸】京電水豊浦線バスの賃。歴版することとなった、なほ常な

問題を得てゐるにも拘らず臨實局でに引下げ認可を申請し追當局の

故人を想ふ追悼匹統的を聞く四 親交の深かつた人々の来報を名ひ

に姓色があつて結局されに行はれ

明温盛況であったが特に山田、

午明十一時から世校に定期網頭を 水南政論からは按摩術の保護があ

【月州】西女校同島間では土

清州高女同窓會

切所は近く邑に編入される台章で歌叫た祝奴を加した

【馬山】呂原郡總では自治管理法 【磨刺」取買支局と指数な所では一 所スタンプ

細民階級に福音

診察無料で薬價は十錢均一 大邱に實費診療所

【大師】府内一般姓民就被のため【午前十時半同町統監座で明朝、左】 料、小児科、内科で、電子には自然的機能が開発が生れず日から第一個八大印象質内で開発した。 の事項を附縁を置した

世界或報告▲十一年度委託应收 工業特別付計經費底所來完議。 十一年度一般會計經費底所來完議。 十一年度報費の底頭及徵收 1000年,每年日本

したが不在のため保養政につき営 は相関へて総道局監督総長を訪問 原手質、荒木、金融碗、本下語氏 別情することになり二十日午前十 明したので永登川側では韓道に再

から京電バスの賃金引下に反對鐵道局としては鐵道収入が載る

一正之氏のためことと、シスピル会と「大郎」大日ハイキング由岳池でで、「大郎」大日ハイキング由岳池で

大日ハイク送別會

永登浦署の陣容 **十餘名の新進增員** 高等司法とも擴充

といふ意味の態度であつたので重

**永同郡面長會議** 

舍新築入礼 十聯隊 (大年) 八十聯隊官 (大年)八

八月行はれたが、五萬三子)他十八棟の新政築工事人

**水産組合第五回通常総額は十八日 の間に合はないので揺當り懸急能 | 道形事態大重形事部長軸に本町窓** を告げたので陳容の郷元を留る必、「城寺瓶第町長は江難路へ司法のか」を告げたので陳容の郷元を留る必、「城寺瓶第町長は江難路へ司法の国法と出りの選択を増設したがたほ話等の国 【永登浦】京城永登川岩では急談「措置として内地人六名朝鮮人四名」 他が事は本町野へ際じその後世に城寺飛事部長は江華野へ司法の小 たので質量でも大概要求を訳とし ねて原連線などよりはズット地収 である質情などを説明して時情し

【統合】吉野町の歌海郡足置漁業 型に迫られたがら東京観光で早金

の被害も創営あるらしいから四が四を示してゐるが土木や山林が四を示してゐるが土木や山林

鎭海灣漁組 通常總會

募る慶北

農工作物被害二百六十萬圓

開記を手にして伊巡知事は暗然

中型部年登成に封する脱跡で断師ったが、副語科目は慰君提與及び 既年を無め職割間を聞くことにな 間接換者に面更競及び各面の中型 「河東」郡では「十四日から五日

釜山考古會 座談會を開く

全南大黑山島風景

四部の水雪配込は左の通りだが、西側、配屋、監景、築州、泰伦十

の際作物設置とは値かに三十英国と十六百八十五国であるから今回

京入札を行つた、工事は十一月

き、簡単各目に膨近の新古ニュー後六時から第二小學校に鬱鬱を囲

り己と言葉が世来とつたので十九日【大郎】大邱府鹽では遠て改梁中

四驛の新策

釜鉞で入札

洪水の門行物被然は二百四十七英

【三出】 釜山等古館では廿二日午

中堅靑年 河東郡で開催

語通り部可するものと脚符される たもの人如く従って近く京街の申 

| [永同] 那では十一日から八日|
| [永同] 那では十一日から八日

なあるあったが

庭球大會 河東の南鮮





溢

单精訓





永登浦選擧分會の

府議戦は相當混竄



KUKURAL

海貴來

新治療藥



展上同館前記で管内十六ヶ面の面 「一郎」流域型では十二、十三の

逆城面長會議延期

腦流 

たので止むなく延期

國家、社會の柱石、指導者に告ぐ 特に軍人、政治家、事業家の如き

良樂はこれです

軍人といはず、政治家といはず、事業家といはず、すべて指導軍人といはず、政治家といはず、事業家といはず、すべて指導軍人といけず、政治家といけず、海に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化しです、海に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化してす、海に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化してす、海に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化してす、海に已み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化してす、海に日み難き勢と申しませう、故に早期に動脈が硬化してす、海の警告、海の警告、海のからは、大きないはず、事業家といはず、すべて指導軍人といけず、政治家といけず、事業家といはず、すべて指導 かのは遺憾至極です。

は専門薬でなければ効きませぬ

でも 解る高

野瘤と不眠症、便秘利尿、肩のコリ、慶命等、萎弱症、神經痛、リウマチス、ヒステリー症、心悸亢進症、主治効能・膨脹硬化症、膠溢血、血腥亢進症、中風症、脛神經・

住類似頭に迷ばず、直接不翻に御社交額ひますを認到る慶響的及デバートにあります、島切の節

二十六四二

河 整話小石川五一一二番 設勢東京四六一八二番

東京市本郷區菊坂町五十二番地

名配入申込实第監監開書御入用の方は

品竇發田武

(可認物便郵酬三類)

な醉惡に錠二の圃會宴 な醉日二に錠二の圀會宴



# 制

酸

のみ過ぎに

感、食慾の減退等を來 ご胸焦けや胃部の不快 ますから、のみ過ぎる して胃液の分泌を亢め 酒、煙草は胃壁を刺戦

悪酔を避け、飲酒後に 尚飲酒前に服用して置 用ひて二日醉を豫防す けば胃の荒れを防いで

る効果がありますっ

し、氣分を爽快に導き錠はよく胃の荒れを治

こんな場合ノルモザン

◇……重曹劑の濫用は危險

重曹なしでは行けの程の習慣性となる缺点を有します 終を罹進し徒らに前症狀を繰返す許りでなく、遂には \*\*\* 和完了後は産生された炭酸ガスのため却つて胃液の分かくのなが 重曹は單に胃酸の中和による一時的の効果だけで、中気を

至りますから早期に適當な治療剤の服用が肝要です。

【適應症】 胃酸過多症、胃液分泌過 移、悪醉、二日醉に… 多症、胃潰瘍、胃痙攣、胃カタル

發

賣

溜飲、

# ◇……現代人に多い胃酸過多症

ノルモザン錠は、建酸アルミニウムを主効分さし、之に

理想的なノルモザン錠の

の藥効

對する治療効果は次の貴重な諸作用により営まれます。

①胃壁の粘膜を被覆保護して患部に及ぼす胃酸の刺戟

ロートエキスを配伍した新制酸銀痛利

で、胃酸過多症に

心窩部にもたれ感があり、空腹となつて胃が痛む。 する現代人の陷り易い胃の症状です。 これ等の症状は錯綜した生存競爭裡に於て心身を過労 食後に胸が焦け、暖氣を催し酸味の生水がこみ上げる 原因は胃液分泌神經の亢奮により胃液の分泌が亢進しませた。 て生じた過量の胃酸が、知覺過敏さなった胃壁の粘膜の粘膜の粘膜の を使すによるものです。

◆……冒潰瘍──胃癌の誘因となる

触して遺瘍面をつくり、遂には出血をみる所謂胃潰瘍とく、くららうる。 右の症狀が長延くこ、胃酸の刺散は胃の組織粘膜を侵 に移行し易く、或は又恐るべき胃癌への道程を辿るに

故にノルモザン錠は、速かに胸焦けや胃痛を鎖めると共

液の過剰分泌を整制する。

③分泌神經の興奮を鎭め、分泌腺を收飲し相俟つて胃

② 余分の胃酸を中和吸收して酸量を減ずる。

を遮り、患部の治癒を早める。

に病因である胃液の分泌を正常に引戻して原因的の治療

効果を收めます。

果を收めるほか脇の蠕動運動 進しますので、胃酸過多症患者に多い便秘に對し ノルモザン錠中のロートエキ

元 株式會社武田 医市東區道修町長 兵衛 商店

スは、胃中で鎮痛効 を亢進して便通を催

關東代理店 株式會社 ηķ 東京市日本橋區本町西新兵衛商店



三 日 分 (五 回 酸) 一週間分 (二 関) 一ヶ月分 (三 関五〇) ニケ月分 (三 関五〇) 理が 三回分(二〇銭) (藥 質)

26--- 1099(·O)

に発行機能なる協議を奪いてるる。など東北各層より共享各別等七十

際に参加する製質については適股 【東京心語】北海道大演習の御覧

水、埼玉、千路の谷際より百名内

→その他新潟、神奈川、群島、栃 當り五十米、市街地州米となって

るる、衛に各所際より武道の繁官一待つて正式に決定数を渡道の限定しるた事報用お目玉

は護道中の景揚聲係局長の歸京を

設を失敬して面白半分に索題して

**E** 

一直部外にこで知人の運動発作

きでサイドカーを連続してゐる思学路の人混みの中をあぶない手つ

危險千萬

七千八百名の警官、

の警筒

冈

彈和

持る一京城運動場二本社/相撲聯盟主催

動員餐官は四手五百名でその内容

に配備する方針である、而して

の器数四展准名中より成績優秀なることになった、消焼手は北海道

力鬪の朝鮮軍途に砂を嚙む

學生團

全鮮聯盟 對抗相撲大會

〇腰間(中央)代し履野(京館)

D水野 (早大) 灯河伊丸岡(丹友)

節木(帯大)込みず深期(京間)()

)毛塚(寒大)がい、趙

日比較(法政)投行權非(同)

けふの天氣

て動詞されることになったが今回

二十三百名が選ばれ細助舞蹈とし

動説し、之を市街地議直沿

七千八百名

優秀な警官

が飛扱さ

千二百名と決定してゐるが残りの は北海道経費官子五百名、養風機 林の中を通路して修習して行場が、過程定を見た敗正航空は第廿三隣、年の下、大阪飛行場の如き煙突の、過程定を見た敗正航空は第廿三隣

現在すでにある問題

不便と危険 を慰するに 顕教とされてゐたが、今日明に通

**建築が東他戦闘がの撃撃は少年の、は軍用飛行為にも民間飛行為にも る関艦である、北戦闘地域の高層、されるものは武闘出来ない、これ のでは、北戦闘地域の高層、されるものは武闘出来ない、これ** 

中であつたがこの程度でした、調一の細胞性はが専押へ調べると、

ついて調査 ともに 外へ逃げ出すのを 通行中

動植物の寶庫牛島

また珍品探

の中を通過して離婚する有様で

大岡明上にも飛行場の施能の概先、岡の航空校散衛は佐藤県鼠を船舶、駅駅を法根によって駆战することをの航路の間米が飛続となり、ま、先年日本空輸の新路はを申心に全一、特別・地域・を一一総に、この一名の航路の間米が飛続となり、ま、先年日本空輸の新路はを申心に全一、特別・地域・を一一総に、この一

に報じ、京城飛行却も防二年曜れ

になつてゐる、この地域は脳の外 間から一杆の固城でこの地域内に

局航空盛では

・職行されることとなるため認备。 動つたと思ふと、下敵人金蛇なさ は内地外地点組はで卑鄙戦行場で「旋撃行時人が訪れ、各宅をのどき」

とも規定されてみる、この航空法

進町二四五下間居金三份さん方へ

十九日午後京城清

自保証と、経行された泥公

鍾路署に御用

泥公二

場附近の建物

限近く實施

牛島各飛行とも支障なし

今後のために十分取締る

j

製品は二要、三要、神へく

佐々本記つどく

○城崎(五大)間5份

美国(图名) 恰曼

0

O A

河山 (指大) 出き中島 (同)

第二回戰

行田(駒湾)順い要

同

開金等の取締め

最近としては需要時間の練製については日下の高大量的の機能であるない、また細かい點主での方能ではまだ何とも後まらず利事部長のではまだ何とも後まらず利事部長ののではまたである。

直な名者。最三調

合井 (不暇勝) 雄〇 毛線 (押し仆し) 雄〇

.酸間(うつちやり)森(最上が野(釣り投げ)深畑(売り投げ)深畑(売り投げ)深畑(売り投げ)深畑(売)のでは、「売りから)のでは、「売りから」では、「売りから」では、「売りから」では、「売りから」では、

**从**<br />
<br />
<br/>
<br />
<b

具體案決定せず

山(よう作し)」が(井田し)が(井田し)

太阳の話氏)

IJ

名取本社特派員撮影の數百點

城崎 (拓大)

100 axtaxe.mx 理学的商品有新数)

日 (五大) 出入後町(立敬)

(京覧) 落し大垣(明大)

第一回載

牀

京城本町五丁目 京城本町五丁目 本本 (000七

版、新江を中心にアベック場門に (E. 外一名で有犯行の外順的各公

発性上軍は、党々世界の第一線に 園豆の窓場と、五十二十二日

我能がベルリンに様似した名取律に、組みに関ゼしれたのであるが、 記念のは精事に登録

屋田氏ら四氏で探し廻る

工公日間の模様を数 本原から江界守備豚死の無窓によ つて一ると十六日振松縣城を四路した 選した信報によれば昔日、出約日

**銀ぎつて來るがこんとは動物分類「職類を重めたがら国形氏は主に内のために所界破究者が膣壁として「毘田氏は主に動脈物の露虫すこの」** 

のために所究研究者が理談として製のをきを他の地方に比較なくそ

南西北北部系統の動植物の種 南西畔一帯の動植物水果を終へ

を訪れた、

朝鮮半島で

あつたとい

この年島は紫原共に思まれて

歌雨を切ともせず的一ヶ月に置り。直航する豫定である、豫山の牧地。米た、その一部は既に本紙に

当船に乗せて長生不死の陸鹿を

對岸の

中北京経過から発行し

空陸から撃退

一般的技力の機能があり、開催上将 四門三十分第一回版に入った、唯 の土俵上の闘い握手が交はされて



の試合を行つた、天知(納)範田郷出において彼阜商業当平安中學 十月午後一時五十分より甲子職 中子的范克 第二十二回至阿中 等技性問題が大意の優勝試合は 中等班球型

(三) 平安―北川、阪衛、辻井平安 010000000 1 1 岐阜県公井、加縣 完改で明治、結局九尉一で仮撃上、阿田(瑩)四氏審判岐阜商 幼女轢殺さる。京城副路 が優勝した、関版午後四時

大学 三日歌 終三氏二女問いさん

九日午後調路大ノ二二四

三十日分一個八十錢一錢

曜日落した魚が大きかつたから たあの個へ行から々といつた西マ かけたのである動といへば、大僕もこの間ある西海岸に動に出 地から探検と出かけよう だ、この酒れた「鯉の那々には肥 チ、ボラ、ナマズ、ギギな 高、野土和等の古者を取録の実際、11にて元づ鮮級、和級、洋最、肌 愛婦活動水害救濟に ▲五○回市城市大門通中西四カ○回市城市市町大理教一班

| 「「「「「「」」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「 ならし近所の住宅の人々に迷惑を

地は近く地分によって地行される

Ľ ら開放す ツ ク寫眞陳列

あすから三日間大澤商會 から三日間一般に公昭することに「せるものあるが、簡単の都合に なつた、すばらしい設備、日本選手りこの中から設計監を選んで陳列 の賑ひなど大陸の感況さを彷彿さ の活躍、スタギアムの興奮、ブールーする、ご人場は自由である で

年出版

陽由感光網

•

缩本刺名星 店商郞二大井樱 総 町喰馬。橋本昌。京東

淡京宣案內

一暗索 ė

計画を辞収書を隠したが、十十 元文(音)は数日即同業者の現金 機能は品質版の野便で「部別 計数抗る 京監接前員 借用版路を送つて来た細路

ダイアド黒線赤線型銀呈 

ことを知ると、何か妙な気が

香华 春交

六段 ▽ 平 慢マ加

殊によるとその家庭の中には

住まつてゐる本屋さんの父が、 みた。あの娘の父、古い話の中壁論は、もう一度記事を融直し

言が、全野処理論

(16)

してしまっただけ少し位無理でも、現ったのです、歴つた形の指棋に、上がは敵の六三王の形を

話つてみた本屋さんの味だっ

あの病者を

あるのかも知れないと思った。 判か、面白くない事情が超されて

局

間は六八玉迄の局面

針は北海のものとみるべきである。中諸軍作職を採つた平野君の方

四五六七

さういふ方面にほ関係になつてる

も魅う出されて来るのだつた。 しづゝ飯くなりかけてゐますがれたつてゐた愛子の華やかな餓形 何時も聞くのと同じことを――

しづゝ賦くなりかけてゐますが、「故願の整號の上には埃が一般たま」何時も聞くのと同じことを――少」長い間據餘をしてゐないらしく、「

いが頭に浮った。その時一緒に連

9知らない観だつたが、ឈ子のこ | 男選は白い上衣に婆母館を云ひ合

したやらに被つてるたり病院では

けてみると、する!しと聞いた。 で、彼女は、武みに格丁戸に手をか 護婦に、佐田千夜子さんといふ方

金曜日 一放送

一会つて首を捻つ

| 南六時(現) ラヂオ伽操

ーと云はれた

置く考へて、京城へ來てから逢つ てみると、一番印象に残つてゐる 同じ年恰好の娘達の記憶を辿つ 思い田せなかつた。山本ーと 通しても、鑑だったか失戦り直 二階の避難に佇んでゐる要領の證

彼女は身仕度をして外しずらに街 みたがよいと思ってみた。父親が へいらく、出て行つた。 十時過ぎに出脳所へ出かけると、 もら、すつかり夏で、町を通る のを機會に、切の狂波端に何か歌 てゐたが、婦人科の方に通つてゐ

いて、そのことを導ねであるらし

でも流産なすつたやうなお話です コ近昭お見乏になりませんが、何 再び際局の小器から顔を製かせ 立(ひらめの鳴戶づくり・もみ同九時一五分(魚後迦報・料理献

出した。何ということなく心を索 丁の、初めて逢つた時の姿を思い 耶を喰入るやらに眠れてゐた下皮 だが、流流とは無格膜してあるだ 正年上集)時報 日用品収長・鮮 午後等時五分(大) 供を証の歌のお籍古 オース助奏 足出 義雄 福昭 小森智雄士 桃谷前落所より トロンベッ 弘田記太郎 同一〇時 ニュース・河安道報・

座。游朱趣

分五十時六後

井

Ł

43 城

、トロンベット獨奏カヴァデー、トロンベット獨奏 竹 関 竹 実 郷産 大阪吹楽美閣 宮崎から大和國へ御職出になりま した、鍵道所については古事記、 日本書記ともに九州から湖戸内海 ――神武天皇が、日向国年の

らうか、一座添ねて行つてみたい

と称へてある内に、足は、一般 盤の則で留つた。枇杷だ

それにしても、どうしてあるだ

の (イ) クリスマスディシクレッ 「、ピアノ編奏 松井 千秋 「大寿(釜) ピアノと童癖 ツ(~)勇士のマー村人の結婚式(ホ) 電影獲唱 ・ 9 復選に御着、それから配州の方へを安越國、吉蘭博と領述みになり れから同波を越て、紀州へ御進田 を散地について踏造成党の結果、 になったものであると賦定されて 日向から土佐へお粉きになり、

ないかとも思ばれる地を創理過あらせられたからでは

【又】大曹の年には前改臣部

を小僧に興いると、直に続四を合い修に提げさせて、千夜子の家の戸

同学時四〇分

新

待つてあても何の膨へもないの

の水圏梯だのといる季節の果然を

手頃に盛つた龍を、水菓子屋の小

(ロ) 野くらべ(ハ) wall もちから、遊歌天皇に駆した。 山田 学園 に 離離せられてゐる、我が 河波ブルゲール行連曲 | 共】 れは歌の著『御楽顔史』 八段金易二郎ものがなかつた、然るに史楽に相 一匹武が建つてゐたけれども記忆の 一種には古から、神武天皇に綴した ものであるとして臨事取りあげる 海拠地画の事が出かれてるるので れ、此の面形にハッキリと問い 御史出は古来館成あるものとせら では、その際説は全く荒唐無難な 大概第の御集國史の刊行を 松島、文八間なども連り、足利義く時に上陸したといふ路、一歳小 き一時中絶したが今日は復活され 一個駐職あそばされたと大概者の特 史もありそれが南北朝壁まで は領義語が四國征伐屋路の新に赴 て御即位式の壁には古例によつて 航の商平路会方の時など、歴史的 ともありそれが南北頭壁までもほから 「荒夢」を奉献することの歴 (る語画の高島、其他此の附近に る、其の神武天皇が三年間

光間を認めらる」に至つた がける 西い 既就も、 こくに 取分か 通過就を提出されたので、河政に 質の開戦ある大陸第二上佐阿波御 【殊】 に忌酒の部族の戦災で 完善の質地路査を得つてふる 歴に歌れ事の馬に 桂なぞとやさしい位置名で一路の 【而】もその地名が俗、

ilă,

眠れ識れ河瓜い若見

坂婦夫のれ譽

び出して、手葉に送る一角能画の 費の青田岩長は錦不清助巡査を呼 なく床についてゐる態に大役の次 **産したが、産後の日立も歩々しく** 銀行を解離されたといる、いはよ れて概はれそのため変度者として の途中大幅版の山道で現迹に襲け 石前門が時も同じ昨年の四月、

斯爾を撮いした流た。 用泉の母配 装をした自分に否語って、記念の 此の問題の化録のでうた種目の

条 卦 <u>銀 金 五 余 縣</u> 卦

▽四四歩 (2分) ▼七六歩 (5分) ▼四三張 ▽四二張 ○六二玉 ○六二玉

58 33

取される供れがある そこで平野君は渡の畑(夕四世) たのは、中央の位を占拠してある 加度されて宝部の豊富である 加度されて宝部の豊富である 加度されて宝部の豊富である 加度されていませた漢字を認るの意 加度されていませた漢字を認るの意 がであるう。

▽五二飛 (3分)

が大事さらに

を目の恐りに見ると、

挿龍

記

指しました。

れない

挖碳關各九時間 消費時間

▼□時間分上三分

の場合適中してみるのだつた。 た。さらして、彼女の推測は大抵

認備などを認りながらや

馬山行 江原道行 施水行 能機器行 毎日日

朝鮮汽船出帆廣告 (急行)極日 (急行)旅日

二時日日

**年後九時** 

やかなお化粧が 日中 自然の美しさそのまゝの巧まぬ爽

生きくしと長保ちします。

学京·平尾萱平商店

「全大後と鬱んで無勢して、近くの」 げ十四五丁サいて一般の際家を題自宅に威支度に繰り、七月前に初 して懸念を善つた 出来す設しては画汚しだと数ヶ所 怪滅に斬りつけたが、ことで指標 即性に派閥を干壅に走らし自分は 居たこと作ら一人の男が後をつけ 放たれ鈴木巡査は腰件を骤たれた り切らう を引取った、流石不敵の殺人も巡れた南足の笑をもらして最初の息 鈴木巡査は無知事などの見舞客に ・斯くして無器使命を果した 455555

復認の意もあった、星速質にあまの電優に狙せず、観像いて縛り上 米幹文、器台直文の門に入って、紅の薔薇の花園くそと枕邊に井上氏は最初醫學校に墨が提外」「祖先は「聞き「買き」 後疑ねて壁めて見よ

師も歸水巡査にとつては父であるのを知つたが、庭々坂を下

高杉商店回漕部 (田回路時間に当)

は 伏よう歌野に結ばすや楽し夢 の 既れ歌れ世の声に 要かき其他に包まれて眠れやよ 

肌目細かに艶やく のきょに生かして 年の研讃と洗練された技術によって 和する魅力の表現です。レート水白粉は多 ますからしどなたのお肌にも素敵に良くッ 自粉の薄化粧こそ 季節の感覺にピッタリ調 汗や脂にも決して崩れずの朝つけたら晩迄 イて 見事にムラなく伸び●残暑の過剰な 女性のお肌にビッタリ真向きに創られてあり ٤ 清新味溢れるしし人水 素肌の美しさをそ 日本

色代近るれ途美景感新 色白・ルケーオ・色版造・色明 銀〇三色名 木・積五二色名 数



本紙一葉號 | 念懸賞小說二等當選

前は不影響に既つて表札を断

佐田宝労と、良人の名ら

円年の夕 000000000

講演

青年と精神

第二放

送

(大) トロムベツ

同九時 同九時 野談 明期調

ニュース・天気見込・職

二、青年と勤労生活 第三〇分(東) 講演 一一背 年のタ **文學博士** 山口 察常

廿二日き、物

デイオシ猫炎 可愛い 医晶外同八時 (東) ビッコロとアッコー大食 邪彦 | 日島県昭(六) 山海 大島 田島県昭(六) 山海 大島 田島県昭(六) 山海 大島 北崎野楽』總督所赴倉課長 知識 田北崎本楽』總督所赴倉課長

| 1年 | 一分(京)郷の修護、楽山 | 同八時四五分(八)短航吟詠 塚山 | 同八時四五分(東)道花前 響れ | 野竹 | 柳田関太郎 | 野竹 | | | ス・気泉通戦・智日の番組の外(東)時報 ニュ 一年後等時五分(史)總音樂 ・ 同六時(名) 淳休本玉三年(五) ・ 同六時(名) 淳休本玉三年(五) ・ 同六時(名) 齊休本玉三年(五) ・ 日本時三の分(六) 遠本はなし ・ 同八時 日の分(大) 遠本はなし ・ 同八時 日の分(天) 談談田

を迎ふるとともに、オリムピック べきである。近く身紀二十六百年 の手段としたりすることは戒しむ

を我國に聞くといる国際的な好時

り、精神生活の活成を伽藍的幸祉に偏属し、恍然の方面を開卸した

策よき百合の花句ふぞや協能に

薄

一夜極ねて起きて見上眠れ眠れ可愛い若見

開治、いづれも精神生活を光度し

得神生活とは伽藍以上に生き、 山口博士は東京高校教授

文學#土 山口

完成すべき方法である。しかし知 知識の徹底、意志の頸靴、情操の 現質以上に生きる生法の調である

征と阿波忌部神武天皇の御東 衆 同八時(東)時部解説 この「週」 単七期物勢「軍軍の娘」 選行田之師 「環行田之師」 同九時(東)時耶解説 奋 たらぬ 期に直面する我々は内的にも外的 し、充分な物理的訓練を過ぎねば

からいる

れんねの揺瘍

ねんねのお里の とろりと鳴る数は

**京城(** 方へのニュース・レコード音樂

り遊波と記伊とにも居る神武天皇 て解、数を値忌させたといふこと ある部族をして肥沃の土地を状め が河波に居るものが最も盛んであ が見えてるて、配も共れは阿波図 仕事に与する底度としては無我の の談話奉仕であることを説明し、 述べて、天皇の御園の崩壊のため 楽仕であるべきで、これ即も目他| 奥能づけられたものでもない事と 大宣氏は大食潜神文化研究所เ 大 倉 那 澤 代金はんが鶏の職業でもなく 二、青年を勤勞

ねんねのお里の

配色お月かま いちものは

いふのは神武天皇御界龍の時に此辺陬であり停ら、忌都氏の來たと 変を以て結論とす 共に生きる道である所以を説く から観覚的目覚に立つての鬼選択 ることより個人的利益主義の生活 題に進んで仕事自置が怪器とな 野の色

に來たのである、所渡國が四國の

家庭講座 十時半 子供と母の 横笛

カイブラフ 起出 袋罐 三度面 避唱 小森智慧于 手も加はつてゐる、放送は拔率で 大勾宮、神戸の山田流弾曲部匠子さんは故中村大桧校の門下で子さんは故中村大桧校の門下で子さんは故中村大桧校の門下で子さんは故中村大桧校の門下で しては新らしい時があり生田風の 松嵐は山本梭枝、中能島松豐二氏 際よ、阻治初年の作曲で山田流と 件奏 川部 和田

歌のお稽古

弘田龍太郎

内療 湿寒網ンド字項 明はす福笛で演奏義します 区尼崎汽船出帆

三門ワ



本邦唯一の

小平動氏監督製劑理學博士獎學士

(法科不要) 保管か小貨音或ひは郵券 投管か小貨音或ひは郵券

住場部付新加速人七十億



0

な

まツワ家庭薬